

令和6年度 1年生(71期生)芸術科選択科目説明資料

全般的な注意事項 ・継続履修とする。(音Ⅰ→音Ⅱ、美Ⅰ→美Ⅱ、工Ⅰ→工Ⅱ、書Ⅰ→書Ⅱ)
・授業に必要な道具・材料等で各自が負担するものがある場合もあります。

科目	学年	教科書	使用教具・教材(◎印は購入品)	授 業 内 容	備 考
音 楽	1	教育芸術社 「MOUSAⅠ」	◎教科書 ・配布プリントを入れるファイル(各自で用意)	【歌唱】…歌唱の様々な形態(独唱、斉唱、合唱、ヴォーカルアンサンブル、オペラ、ミュージカル、謡など)を通して、音楽活動の基本を知り、美しい音楽表現を学ぶ。 【器楽】…ウクレレ弾き歌い ボディパーカッション 【創作】…楽譜作成ソフトを活用した作曲 【鑑賞】…表現活動や音楽史と関連させて、適宜行う。 【その他】…音楽を表現するために必要な知識(音楽史、音楽理論)および音楽文化とその成立背景についての研究を適宜行う。	表現活動が中心となるので、何事にも積極的に協調性があり、心身ともに活発な生徒の受講を希望する。
	2	教育芸術社 「MOUSAⅡ」			
美 術	1	光村図書 「美術Ⅰ」	◎クロッキー帳(A4) ◎教材費:2年間で7,000円 (キャンバス、画材、消耗品等)	1. 静物などをモチーフとした作品制作や目的や機能に合わせたデザインなどを通して、美術表現の基礎を学ぶ。 2. 自己の思いや考えなどを、様々な表現媒体を通して表現することで、自己の価値観を創出していく。 3. 作品制作や鑑賞活動を通して、互いの考えや価値観を理解し合う。	動きやすく、汚れてもよい作業衣を準備することが望ましい。
	2	光村図書 「美術Ⅱ」			
工 芸	1	日本文教出版 「工芸Ⅰ」	◎教材費:2年間で7,000円 (木材、金属、粘土、布 消耗品等)	Ⅰ・Ⅱを通じて、主に下記の1～3を発展的にくり返す。 1. 生活の中での使用を目的として、美しく機能的な作品を発想構想する。 2. 発想構想に基づいて、計画的、機能的に作品を制作する。 (木材、金属、陶磁、繊維などを素材とする。) 3. 制作した作品を生活や社会の中で生かす工夫をする。	動きやすく、汚れてもよい作業衣を準備することが望ましい。
	2	日本文教出版 「工芸Ⅱ」			
書 道	1	教育図書 「書Ⅰ」	◎毛筆大 ◎毛筆小 ◎用紙 (漢字用半紙、かな用半紙、料紙、画仙紙等) ◎墨(固形墨、液体墨) ◎篆刻用印材 等	書は言葉を表現する芸術であると捉え、主体的で創造的な表現ができることを目指して、学習活動を展開する。 1. 漢字の書・仮名の書(伝統文化から学ぼう) 2. 漢字仮名交じりの書(現代の言葉を自分の表現で書こう) 3. 日常生活に生かす書(書を暮らしにいかそう) 4. 鑑賞(素直な心で感じよう) 5. 作品制作 ・条幅作品(掛け軸) ・篆刻(印章) ・工芸書(蒔絵) 等	動きやすく、汚れてもよい作業衣を準備することが望ましい。
	2	教育図書 「書Ⅱ」			

令和6年度 新入生芸術科選択科目調査

次の芸術科4科目のうちから、第1希望、第2希望を一つずつ選んでください。なお、科目選択を学校に一任することもできます。

<科目> 音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰ、書道Ⅰ

- (注意) 1. 1年で選択した科目は、2年、3年で変更できません。
2. 第2希望にまわってもらいますが、第1希望でないといけない場合には、その理由を記入してください。

<提出>

提出方法については3月3日(日)のオリエンテーションでの説明を参照してください。